



様式第4号（第6条関係）

令和5年7月21日

富士見市議会議長 田中 栄志 様

会派名 21・未来クラブ
代表 尾崎 孝好

行政視察・研修（政務活動）報告書

下記のとおり、行政視察・研修（政務活動）を実施しましたので、報告いたします。

記

- 1 期 間 令和5年7月5日～7月6日（2日間）
- 2 参加者名 齊藤隆浩 田中栄志 佐野正幸 小泉陽
- 3 場所（行政視察地・研修場所）
早稲田大学大隈記念講堂（東京都新宿区戸塚町1丁目104）
- 4 調査・研修概要
全国地方議会サミット2023
変わる社会・デジタル・あたらしい民主主義

■1日目：7月5日（水）

＜基調講演＞「激変する時代に対応する議会を実装せよ」

北川正恭（早稲田大学名誉教授 元三重県知事）

- ・今回で5回目となる開催趣旨について説明があった。地方分権から20年が経過し、これからは議会の制度から実装をしていくことが必要という講演があった。

＜特別講演＞「デジタルで変わる社会 地方と議会への期待」

河野太郎（デジタル大臣）（動画出演）

- ・マイナンバーの活用をはじめ、国と地方のデジタル化を進めていく

という講演があった。

<セッション>【デジタルで変わる自治体・政策】

佐藤泰格（都城市総合政策部デジタル統括課）

「マイナンバーカード交付率9割超え 都城市のデジタル戦略」

寒川孝之（横須賀市デジタル・ガバメント推進室）

「ChatGPT自治体活用実証 横須賀市のデジタル戦略」

森いづみ（県立長野図書館長）

「全国初 県内全77市町村との協働電子図書館「デジとしよ信州」

林剛史（株式会社メディアドゥ 電子図書館推進センター）

「デジタル図書館とアクセシブルライブラリー」

- ・自治体におけるデジタル化の推進事例、並びに民間における図書館のデジタル化支援の紹介があった。

<セッション>【オンラインとデジタルを活かす】

河村和徳

（東北大学大学院准教授 都道府県議会デジタル化専門委員会座長）

「議会デジタル化の必要性 ChatGPTなどの生成系AIとどう向き合うか」

金澤克仁（取手市議会議長）

「デジタル・オンライン活用最前線 AI活用による議会の視覚化と市民参画」

財前貴玄（Gcomホールディングス まちだん担当）

「デジタルで変わる市民と議会まちだん宮崎市議会DX実証実験より」

- ・議会におけるデジタル化の活用、推進事例の紹介があった。

<セッション>【デジタルが拓くあたらしい民主主義】

中村健（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）

「Society 5.0時代のあたらしい民主主義」

五十嵐立青（つくば市長）

「つくば市が取り組む選挙DX インターネット投票実証実験より」

山本直也（芽室町選挙管理委員会事務局書記長）

「選挙後（無投票選挙）も選挙公報を有権者へ届ける取組」

川久保皆実（つくば市議会議員）

「新しいスタイルの選挙運動を全国に！「選挙チェンジチャレンジの会」の取組」

- ・デジタル活用による議会への市民参画事例の紹介があった。

■ 2 日目（7 月 6 日）

< 鼎談 > 「地方分権の 20 年とこれからの 10 年を展望する」

北川正恭（早稲田大学名誉教授 元三重県知事）

片山善博（大正大学教授 元総務大臣）

廣瀬克哉（法政大学総長）

・ 20 年間にわたる経験をもとに地方分権の変化について講話があった。

< セッション > 【政策議会の一般質問】

土山希美枝（法政大学教授）

西原浩（北海道別海町議会議長）

青野敏（北海道鷹栖町議会議員）

片山兵衛（北海道鷹栖町議会議員）

・ 議会における質を上げている一般質問の事例の紹介があった。

< セッション > 【自治体監査と議選監査委員を活かす】

江藤俊昭（大正大学教授）

「政策サイクルと政策財務」

谷川宏（鎌倉市監査委員事務局長 前議会事務局議事調査課長）

「監査委員事務局との連携 自治体監査・議選監査の活かし方」

子籠敏人（あきる野市議会議員 議選監査委員）

「議選監査委員を活かす」

川上文浩（可児市議会議員 議選監査委員）

「議選監査委員の活かし方 行政のかかりつけ医」

・ 議選監査委員を活用し議会機能の充実を図ることについて講話があった。

< セッション > 【政策につよい議会をつくる】

菅原由和（奥州市議会議長）

「政策決議提案とガイドライン」

清水克士（前大津市議会局長 早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員）

「大学連携とミッションロードマップによる政策立案」

津軽石昭彦（関東学院大学教授）

「議会における政策づくりと政策法務」

・ 議会による政策づくりの事例の紹介があった。

<総括・宣言>

- ・総括として、議会改革をみんなで拡げていってほしいと話があった。
- ・全国地方議会サミット2023宣言
 - 一 デジタル活用により議会をいっそう活性化し、非常時でも機能する議会へと変えていく
 - 一 議会、委員会、議員の政策実現力を高めていく
 - 一 議会による政策サイクル、議選監査の活性化、一般質問の進化などによる議会改革をさらに進めていく

5 感想及びまとめ

今回参加したサミットは、地方分権から20年、これまで議会改革ということを考えてきたが、コロナ禍を経て社会は大きく変わったことを踏まえ、地方議会における対応を考える場であった。その事例として、先進的にデジタル活用をしている議会及び自治体の話を聴くことができた。

議会改革を進めていく手段として、デジタル技術を活用していくことが求められる。ただし、デジタル技術は急速に進展しているが、それに制度が追いつかない状況となっている。先進的にデジタル活用をしている議会及び自治体においては、強力なリーダーシップの下に導入が進められているといった話を聴くことができた。

デジタル技術の活用による議会のさらなる活性化の事例、政策実現力を高めていくための方策、議会改革の事例などを聴き、議会が主体となって社会をよくしていくための知識を得た研修であった。

*行政視察に関する調査書、概要、参考資料等は、会派にて保管